

# 緊急地域雇用特別交付金事業 航空機MSSによる藻場干潟域調査

水野 知巳

## 目 的

沿岸海域における自然浄化や生物の生息場として、重要な役割を持つと考えられる干潟や藻場の分布・面積を調べる。

## 方 法

伊勢湾の三重県側の海域で現地調査を行い、平成11年度に緊急地域雇用特別交付金事業で行った航空機MSS調査結果と併せて解析し、藻場、干潟面積を算出した。

過去に行われた干潟調査は、「河口干潟」が主対象とされていたが、当調査では、河口干潟同様、自然浄化に貢献していると考えられる「海岸干潟」も干潟の範疇に含めた。なお、河口部分とは一級河川では建設省が示した感潮区域、二級河川では水準点が2.5～3mの範囲内の上流域を対象とし、下流部分では河口に導流堤、突堤に囲まれた範囲を対象とした。干潟の分類は、河口部分では、「干潟 1」を潮汐で冠水する部分、「干潟 2」を海水が波浪により飛散したり低気圧接近時などの最高潮位で冠水する部分、「砂州」を陸生植物が繁茂した部分と定義し分類した（図1）。海浜部分では、河口部分

の「干潟1」、「干潟2」、「砂州」に相当する部分を、それぞれ「前浜」、「前径浜」、「後径浜」と定義した（図1）。

藻場の分類は、アマモを主体とする「アマモ場」、オゴノリなど紅藻類を主体とする「オゴノリ場」、ガラモ・ホンダワラ等の褐藻類を主体とする「ガラモ場」に分類した。また、「アオサ」や「流れ藻」が漂着した部分は、藻場とは別に分類した。

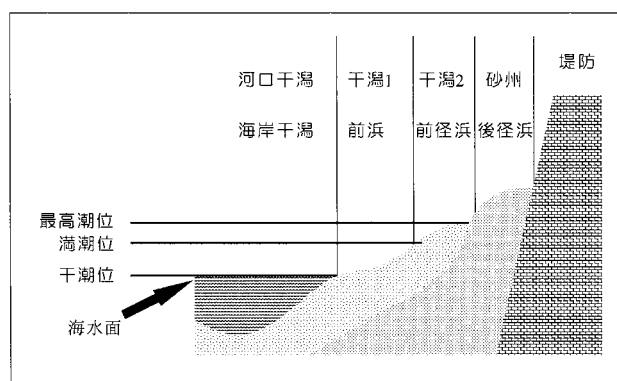


図1 河口干潟と海岸干潟の分類

表1 伊勢湾の河口干潟と海岸干潟の面積（1999年12月・2000年1月調査）

区分 項目 地区名	河 口 部 分				海 岸 部 分				合 計
	干潟-1 面積(m <sup>2</sup> )	干潟-2 面積(m <sup>2</sup> )	砂州 面積(m <sup>2</sup> )	小計 面積(m <sup>2</sup> )	前浜 面積(m <sup>2</sup> )	前径浜 面積(m <sup>2</sup> )	後径浜 面積(m <sup>2</sup> )	小計 面積(m <sup>2</sup> )	地区別 合計(m <sup>2</sup> )
木曾岬町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長島町	460	0	0	460	0	0	0	0	460
桑名市	17,990	0	0	17,990	0	0	0	0	17,990
川越町	260,380	40,215	49,665	350,260	0	24,045	24,735	48,780	399,040
四日市市	212,775	49,835	147,225	409,835	8,345	8,805	6,840	23,990	433,825
楠町	161,230	42,630	288,235	492,095	6,485	79,995	53,905	140,385	632,480
鈴鹿市	23,350	0	51,520	74,870	178,215	318,655	201,475	698,345	773,215
河芸町	49,060	0	20	49,080	57,925	217,590	117,035	392,550	441,630
津市	221,760	75,660	280,995	578,415	128,585	375,220	326,140	829,945	1,408,360
香良洲町	108,880	59,165	202,625	370,670	20,520	119,750	59,185	199,455	570,125
三雲町	332,740	109,675	152,810	595,225	0	23,675	15,850	39,525	634,750
松阪市	1,426,215	166,510	1,094,085	2,686,810	38,475	23,855	117,955	180,285	2,867,095
明和町	77,340	32,480	207,530	317,350	79,435	138,080	35,285	252,800	570,150
伊勢市	866,925	219,640	804,535	1,891,100	63,945	125,970	81,230	271,145	2,162,245
二見町	46,340	22,290	15,590	84,220	73,700	52,065	28,285	154,050	238,270
項目別合計	3,805,445	818,100	3,294,835	7,918,380	655,630	1,507,705	1,067,920	3,231,255	11,149,635

## 結 果

伊勢湾の三重県側に残存する砂浜域（上記の全ての分類の合計）は、1,100haであった（表1）。その内訳は、河口部分では「干潟1」が380ha, 「干潟2」が82ha, 「砂州」が329haであり、海浜部分では「前浜」が66ha, 「前径浜」が151ha, 「後径浜」が107haであった（表1）。最も面積の大きい河口干潟は、現在浄化量調査を行っている松阪沖の河口干潟であり、県内の河口干潟の40%を占めた。

残存する藻場は235haであり、その内訳はアマモ場と

オゴノリ場がそれぞれ38ha, ガラモ場は158haであった（表2）。今回の藻場の定義には含まれないが、アオサや流れ藻が漂着している区域がそれぞれ200ha以上みられた（表2）。

## 関連報文

三重県科学技術振興センター：平成11年度伊勢湾生態系に関する調査（航空機MSSによる藻場・干潟域調査）報告書

表2 伊勢湾の藻場の面積（1999年12月・2000年1月調査）

区分 項目 地区名	藻 場				その他	
	アマモ 面積(m <sup>2</sup> )	オゴノリ 面積(m <sup>2</sup> )	ガラモ・ホンダワラ 面積(m <sup>2</sup> )	小計	アオサ 面積(m <sup>2</sup> )	流れ藻・付着珪藻など 面積(m <sup>2</sup> )
木曾岬町	0	0	0	0	0	0
長島町	0	0	0	0	0	83,910
桑名市	0	0	0	0	0	53,545
川越町	0	0	0	0	0	535
四日市市	0	0	0	0	0	7,440
楠町	0	0	0	0	0	61,875
鈴鹿市	0	0	0	0	0	16,960
河芸町	0	0	0	0	0	14,090
津市	0	6,715	0	6,715	0	240,755
香良洲町	500	50,710	0	51,210	0	67,345
三雲町	126,220	12,305	0	138,525	644,425	12,050
松阪市	155,755	10	0	155,765	740,240	14,110
明和町	0	298,555	11,965	310,520	160,180	1,162,975
伊勢市	22,205	15,885	1,449,545	1,487,635	649,595	350,285
二見町	75,165	0	121,565	196,730	47,610	426,705
項目別合計	379,845	384,180	1,583,075	2,347,100	2,242,050	2,512,580